

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年6月3日（金）現在

【 野菜 】

<きゅうり>

関東、東北産の入荷量が想定よりも少なく、相場を下げたことで一定の引き合いも出ており、相場は保合となる見通し。

@A 1,500円～

<いちご>

栃木県産、東北産が出荷メインでどの産地もイタミが散見されており、出荷終了まで品質重視で売場を確保していく販売で、相場は保合の状況となっている。

@2L、L 230円～

<えんどう類>

さやえんどうは、福島県産のピークも過ぎ入荷量も日々減少となる中で、末端の荷動きも鈍い状況となっている。相場は保合の見通し。

@A（露地）1,800円～

スナップえんどうは、福島県産、関東近在産の潤沢入荷で全体量は多いが、荷動きが良いため保合での販売となる見通し。

@A（露地）1,800円～

<アスパラガス>

北海道、九州産が増量しているが、東北産が立茎作業中で全体量が少ない環境のため、相場は保合での販売となる見通し。

@AL 160円～